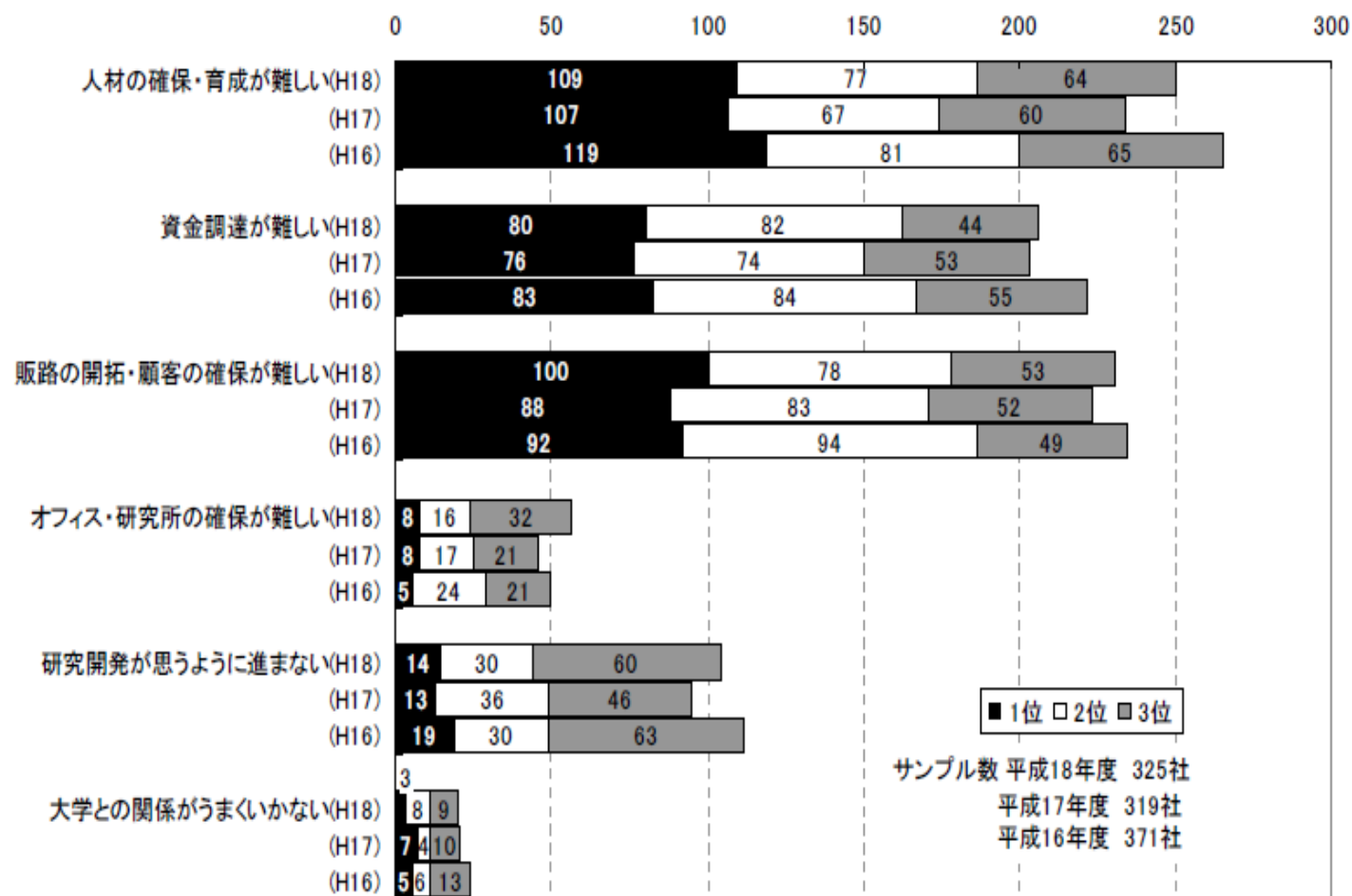


大学発ベンチャーの現在直面する課題

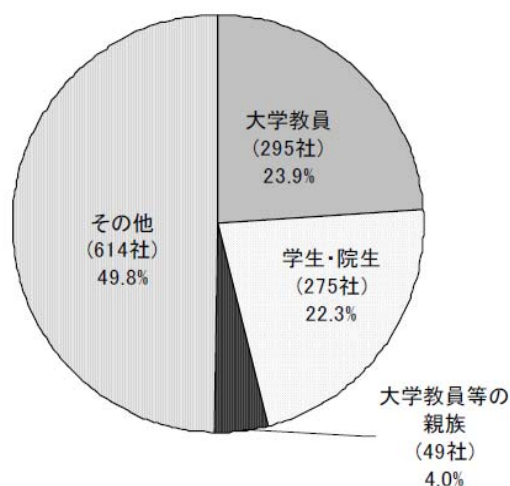


(「平成18年度大学発ベンチャーに関する基礎調査報告書の概要」(経済産業省)より)

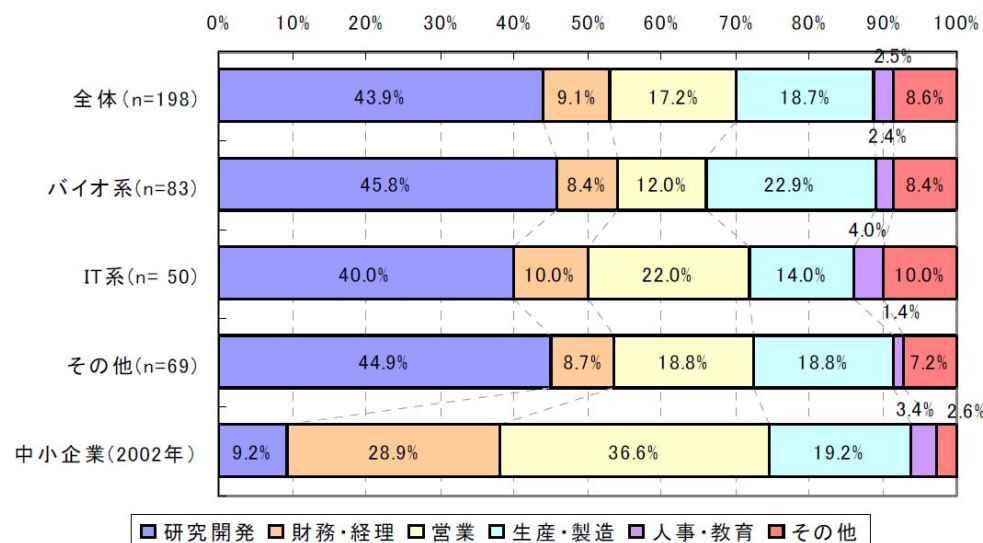
・大学発ベンチャーが直面する課題としては、「人材の確保・育成」、「販路開拓・顧客の確保」、「資金調達の確保」が挙げられる。

大学発ベンチャーの人材面での課題

大学発ベンチャーの経営者の構成



右腕の主たる担当業務



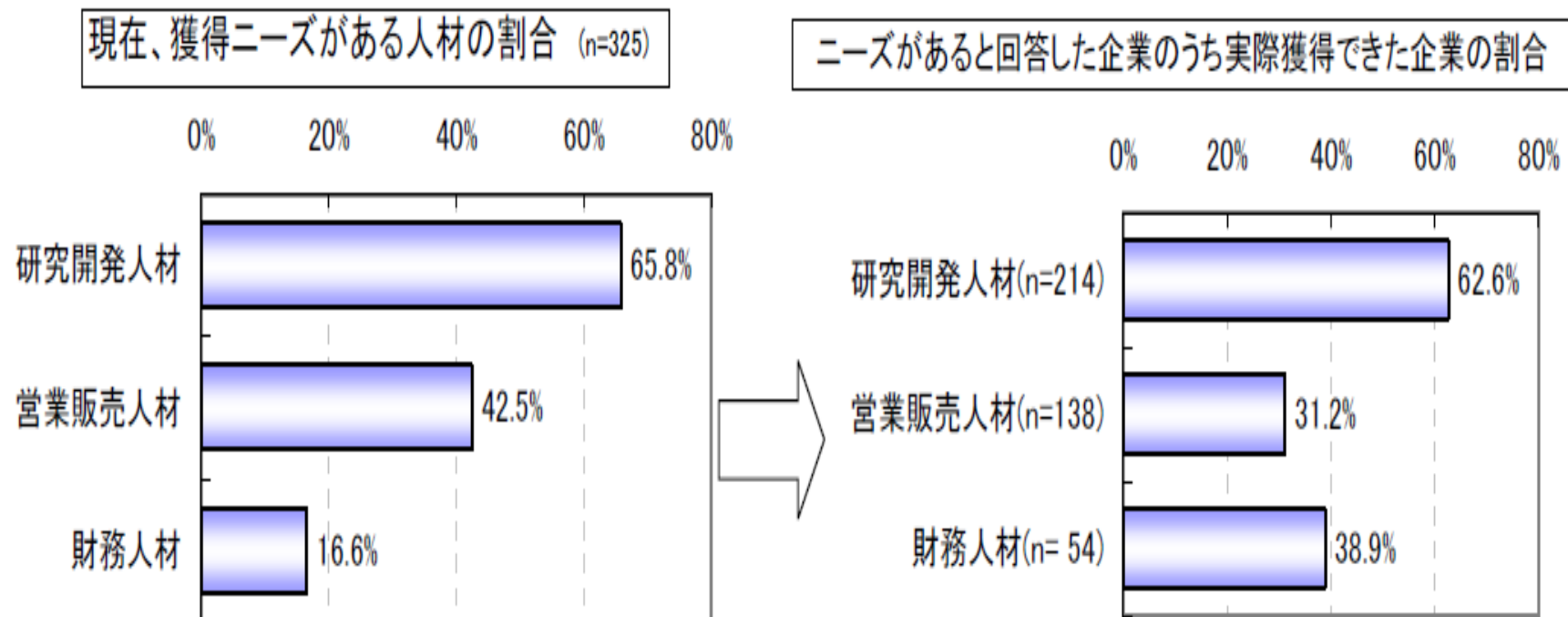
(注) コア大学発ベンチャー（「大学で生まれた研究成果を基に起業したベンチャー」＋「大学と深い関連のある学生ベンチャー」）1,233社を以下に区分。

- ①大学発ベンチャー取締役と関連のある大学教員とが同一名である場合を「大学教員」
- ②大学発ベンチャー取締役と関連のある学生・院生とが同一名である場合を「学生・院生」
- ③大学発ベンチャー取締役と関連のある大学教員等の名字が一致している場合を「大学教員等の親族」
- ④上記①、②、③以外の場合を「その他」

（「平成18年度大学発ベンチャーに関する基礎調査報告書の概要」（経済産業省）より）

- ・大学教員や学生等が大学発ベンチャーの経営者となる例が約5割。
- ・一般の中小企業の「右腕」では、「営業」や「財務・経理」を担当することが多いが、大学発ベンチャーでは、「研究開発」を担当している例が多い。

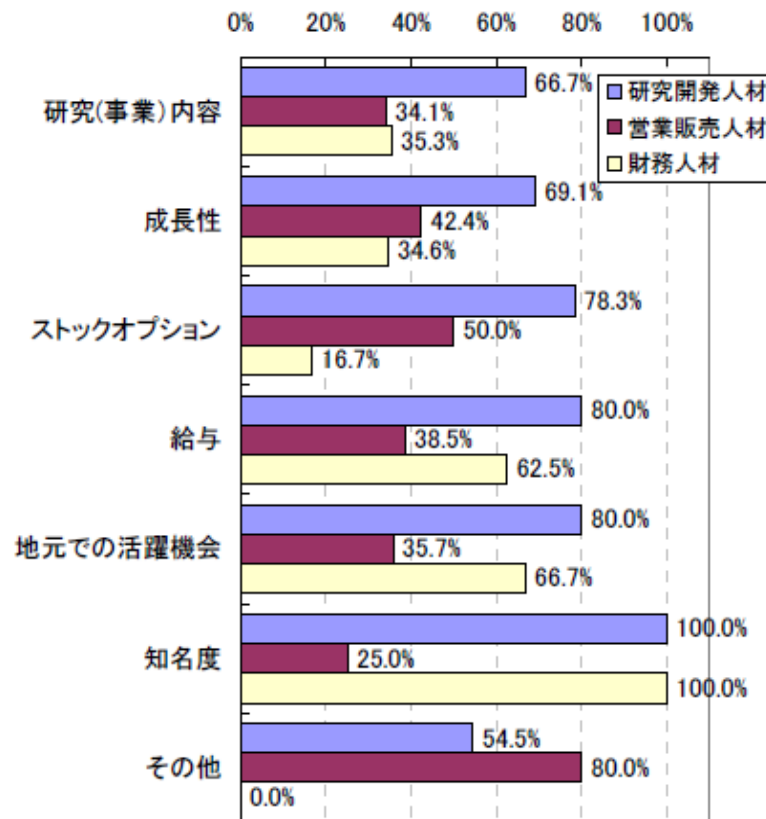
大学発ベンチャーが必要とする人材



(「平成18年度大学発ベンチャーに関する基礎調査報告書の概要」(経済産業省)より)

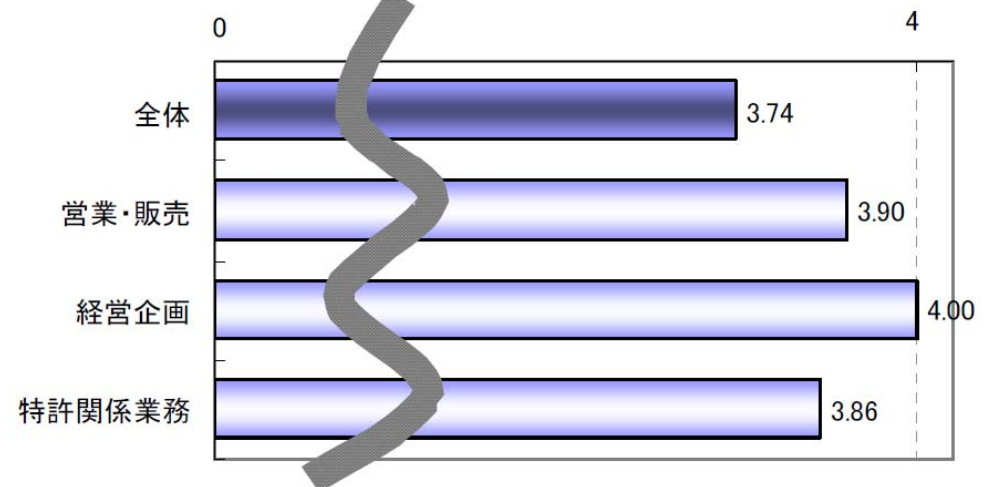
- ・大学発ベンチャーが**獲得を希望する人材**は、「**研究開発人材**」が最も多く、**実際獲得できた割合も約63%**という結果となっている。
- ・一方、「**営業販売人材**」や「**財務人材**」については、人材を獲得できた割合は40%に満たない。

採用時に強調した内容別の人材の獲得割合



ポスドクを採用した実績を持つコア大学発ベンチャーによる満足度

(ポスドクの「研究開発業務」以外の担当業務とその満足度を「最も満足＝5点」、「大変不満＝1点」として、5段階の尺度にてベンチャーに質問した結果。)



(「平成18年度大学発ベンチャーに関する基礎調査報告書の概要」
(経済産業省)より)

・大学発ベンチャーに対し、採用される側が重視する事項では「**地元での活躍の機会**」を挙げるケースが多い。

・ポスドク人材は、「**研究開発人材**」としてはもちろん、技術を熟知した人材として「**経営企画**」、「**営業・販売**」等の分野でも**貴重な戦力**となっている。